

松本ヘルスバレーの実現に向けて

●問い合わせ 健康産業・企業立地課 (☎3413296 ㊟3413008)

健康は活力ある高齢社会の源です。市では、健康づくりや介護予防に役立つたり、病気や介護が必要になっても快適に暮らせたりする製品やサービスを生み出し、市民の快適な生活を支えるための取り組みを行っています。

松本ヘルスバレーとは

日本は少子化によって働く人の数が減っているうえ、高齢化によって医療費や介護費が増え、傾向にあります。松本市ではいち早く「健康寿命延伸都市・松本」を掲げ、「心と体」の健康づくりと、「暮らし」の環境づくりを総合的に進めてきました。

しかし、こうした取り組みは行政だけでできることではありません。まずは、生活習慣病の改善を通して予防する。もし病気になるったり介護が必要になったりしても、安心して快適に暮らし続けるためには、それらを支える製品やサ

ービスが、地域社会の中から生み出されることが必要です。松本市には、多くの医療機関があり、人口当たりでみる医師数は全国1位です。こうした恵まれた医療環境は市民の方の健康意識を高めています。また長野県内には、電子精密部品関係など精度の高いものづくり企業が多く存在しています。

このような地域の特長を生かし、健康・医療分野の新たな産業を生み出すことで、健康で活力のある市民一人ひとりが自立して暮らし、その人々に磨かれることで産業がさらに発展し、健康医療に関する情報や投資が増え、住む

人・働く人が集まるといいう良循環が生まれます。これが、松本ヘルスバレーです。

市民の皆さんとともに

松本ヘルスバレーを実現するために、(仮称)松本ヘルス・ラボを設立し、市民参加による新商品・サービスの開発を支援します。

これは、健康に関心の高い市民が、自ら健康増進をはかるとともに、市民の健康や医療を考える商品開発のためのアイデア・企画の提供や、モニターへの参加など事業化のサポートを行うものです。

(仮称)松本ヘルス・ラボ

(仮称)松本ヘルス・ラボとは？

市民の健康づくりの機会の増大と健康産業の創出の実現するため、消費者の視点を有効活用し、サービスや製品の開発を支援すること

※ラボ＝研究する場所

機能① 健康増進活動の促進

- 1) ラボへの登録の促進
- 2) 健康状態情報の測定・蓄積
- 3) 健康指導・健康活動へのコーディネート



機能② 健康産業の創出促進

- ・新サービス
- ・新製品の商品化
- ・事業化の促進



ラボの運営コストは、行政のみに依存せず、健康産業の創出促進の充実により、対価を獲得し、最小限の公的負担による経営を実現します。

健康産業の取り組みの具体的な例

松本市がめざす「健康寿命延伸都市」を持続可能な形で推進し、産業化によって市民の健康を支える仕組みづくりを検討する、世界健康首都会議（写真は『第3回世界健康首都会議』の様子）



福祉ひろばで、カラオケの機械を使い、歌いながら軽い運動をして、介護予防に生かすための、(株)第一興商による『カラオケ効果で元気塾』（写真は新村地区福祉ひろば）

健康について、気軽に相談できる場所を設け、特定健診やがん検診の受診を促すため、ローソン店舗駐車場で行われた「ましかど健康相談」



地元の農機具メーカーである、(株)デリカでは、歩行時に比べ、速度と消費エネルギーが増加する、電動アシスト四輪自転車「けんきゃくん」を開発・販売しています。



● 問い合わせ
 (株)デリカ (☎48-1181)